

## 2019年第2回IEEE東京支部理事会 議事録(案)

日 時：2019年6月12日(水) 15:00～17:05

場 所：ガーデンエアタワー28階プレゼンテーションルームA

出席者：徳田 Chair、宇佐見 Vice Chair、滝嶋 Secretary、羽渕 Treasurer  
奥村、東盛、中村、桧垣(代理)、田中、山田(代理)、高野、吉田、笹瀬、  
杉江、眞田、野田 (敬称略、順不同)

オブザーバ：百武

事務局：加藤、満井 幹事会社：望月、吉原(記入者)

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 (資料 1)
2. Japan Council 理事会(2019年第一回)報告 (資料 2)
3. 2019-20 東京支部理事会構成 (資料 3)
4. 2019年中間会計報告 (資料 4)
5. 委員会活動報告
  - ・ Chapter Operations Committee (資料 5-1)
  - ・ Fellow Nominations Committee
  - ・ Membership Development Committee (資料 5-2)
  - ・ Technical Program Committee (資料 5-3)
  - ・ Publications Committee (資料 5-4)
  - ・ Student Activities Committee (資料 5-5)
  - ・ History Committee (資料 5-6)
6. Affinity Group 活動報告
  - ・ Life Members Affinity Group (資料 6-1)
  - ・ Young Professionals Affinity Group (当日配付)
7. その他
  - ・ JC WIE 報告 (資料 7-1)
  - ・ メール審議報告 (資料 7-2)
  - ・ SIGHT 報告 (当日配付)
  - ・ Region10 からのメール連絡一覧 (資料 7-3)
  - ・ 201904 東京支部会員推移状況 (資料 7-4)
  - ・ Summary Report on IEEE Region 10 Industry Forum in ISCAS 2019 (当日配付)

議事：

0. 徳田 Chair のご挨拶

徳田 Chair より開会の挨拶が述べられた。

1. 前回理事会議事録の確認【審議→承認】

(資料 1)

滝嶋 Secretary から確認があり、異議なく承認された。

2. Japan Council 理事会(2019 年第一回)報告

(資料 2)

滝嶋 Secretary から 2019 年第一回 IEEE Japan Council 理事会議事録の説明があった。TENCON2020 は各 Section に費用負担や運営協力が求められており、これについて会議の場で意見照会があった。

笹瀬 Past Chair より、TENCON は売上げの何割かを IEEE 本部に納める会議なのかと質問があり、杉江 Past Secretary より、20%以上の利益を確保する必要があること、赤字の場合は Sponsor として署名した JC あるいは Section が赤字分を払うこと、今回の署名にあたっては事前確認が必要と回答があった。また笹瀬 Past Chair より助言があった。昨年の TENCON の際、北京、ソウル、日本の Section 代表が集まって会議を開催したいという話が急にあったが見送りになった。このようなことは事前連絡してもらうこと、また特定の大きな Section だけが集まることに了解を取る必要がある。大きな Section が集まる良い機会ではあるが、関係者に事前連絡し、講演者の招聘等を円滑にすることが重要である。この点を徳田 Chair に申し送りたいとのコメントがあった。徳田 Chair より、赤字の場合、各 Section の Chair は了解しているかと質問があり、杉江 Past Secretary より、JC 理事会では各 Section の Chair に署名をもらうか、JC で一括して署名を行うのか決定しておらず検討することになっていた。JC 一括で署名し赤字となった場合は JC が負担することになる、と回答があった。滝嶋 Secretary より、JC がある程度カバーするとの発言があったと理解している、赤字の場合の懸念や意見があったことを JC に伝えるとコメントがあった。

3. 2019-20 東京支部理事会構成

(資料 3)

滝嶋 Secretary より、History Committee Secretary が佐々木 (KDDI) 氏に変更することが説明され、承認された。

4. 2019 年中間会計報告

(資料 4)

羽瀧 Treasurer から 5 月末までの中間会計報告について、資料説明があった。リポートのうち Joint Chapter の表に \$0.00 の箇所がある。リポート獲得にはテクニカルレポートの提出(同表の T 欄の値 2 以上)が必要で、この点留意が必要であることが指摘された。

滝嶋 Secretary から情報提供があった。本部からの SA 受け取り/JC 拠出金の素通りを除くと、収入の進捗率は 97.17%で 100%近くに達している。一方、支出の進捗率は 28%であ

る。時間平均は 42%(=5 カ月/12 ヶ月)であり、活動活発化をお願いしたい。また、会計精度向上や資源の有効活用促進のため、今年から四半期ごとに、次回は 6 月末に支出入を確認する。各委員会の支出予定額と支出予定時期を確認頂き、予定時期を過ぎた案件は実施の事実確認をする。支出予定額と支出予定時期をご連絡頂きたい。今月末の締切りに向けて個別にヒアリングする。ご協力を頂きたい。2018 年以前の案件が残っていれば事務局まで早急に連絡頂きたい。

## 5. 委員会活動報告

### ・ Chapter Operations Committee (資料 5-1)

奥村 Chair から資料説明があった。

滝嶋 Secretary から、JC COC では課題の議論があったが、東京 Section でも同じような課題認識はあったかと質問があり、奥村 Chair からは特にそのような依頼はなかった、引継ぎもない、今後状況に応じて検討すると回答があった。

滝嶋 Secretary から、今月下旬予定の COC 会議にて前 Chair との意見交換があると思うので、ご議論頂き、本理事会に情報提供をお願いしたいと依頼があった。また羽渕 Treasurer から、リポートに関して COC にて、Chapter で報告が滞っているのか、活動が無いのか、確認をお願いしたいと依頼があった。

### ・ Fellow Nominations Committee

東盛 Chair から、9 月頃から様々な活動が始まるので、メール一斉配信や国際会議の様な場でのパンフレット配布など、次の理事会までに提示したいと口頭説明があった。

### ・ Membership Development Committee (資料 5-2)

中村 Chair から資料説明があった。

滝嶋 Secretary から IEEE 東京支部会員推移状況(資料 P54)を参照しながら会員数の推移、傾向の説明があった。また、R10 から MD 強化のために MD Chair を様々なレベルで設けて欲しいとの話があったことが伝えられた。

### ・ Technical Program Committee (資料 5-3)

桧垣 Vice Chair(Chair 代理)から資料説明があった。

滝嶋 Secretary から、2019 年は全 8 回の開催か、費用計上の予定はないかと質問があり、桧垣 Chair 代理から全 8 回で、予算も当初通りと回答があった。

### ・ Publications Committee (資料 5-4)

田中 Chair から資料説明があった。委員交代に配慮した、Garoon のフォルダ設計、ML を利用した ID 割当て、発行について初期案の提案があり、提案に対する意見照会があった。

徳田 Chair から、ハッキングされた時のログ管理を行っているか、複数人で共有すると操作者を特定できないのではと質問があり、望月セクレタリアシスタントより、ご質問の通り操作者を特定できないが、アクセス権の管理を条件にサイボウズ社から許可を得ている、関係者に順守徹底の周知をしていきたいと回答があった。

羽渕 Treasurer から、1つのファイルを3人同時編集するとどのように保存されるかと質問があり、望月セクレタリアシスタントより、実際試したことはない、トラブルの可能性はあり、その防止策を検討すると回答があった。また、それぞれIDの中での運用規則が必要かもしれないこと(滝嶋 Secretary)、試行運用して問題が生じるようであれば個人単位でIDを払出する可能性もあること(田中 Chair)、役職でIDを作れば個人が変わっても問題はないのでは(徳田 Chair から)、ID発行数上限に注意が必要であること(滝嶋 Secretary)のコメントがあった。いただいたコメントを反映し、ID発行等の規則を確定することとなった。

滝嶋 Secretary から、事務局の情報システムを事務局と Pubcom で扱ってきた。今後、情報システム活用度が高まり、Garoon の本格活用もある。今後、専任チーム設立、その前段として準備委員会の設立を検討していることが述べられた。

#### ・ Student Activities Committee

(資料 5-5)

稲森 Chair 欠席のため、滝嶋 Secretary から資料代読があった。他、メンバ数ゼロの Student Branch(SB)について話があった。報告書の提出など R10 は SB の活動を見ている。メンバ数ゼロの SB が R10 の中に多くあり、東京では、東京大学が解散勧告に相当する Resolution だが、誤解があるので訂正依頼中である。青山学院大学、中央大学、東京電機大学が一年猶予のある Probation である。これらは実際に活動を示していく必要があり、盛り返せるのか、SAC でご検討頂いている。

羽渕 Treasurer から情報提供があった。報告手順に変更があり、今後は報告の仕様では Section Chair の mail address の指定が必須となる予定。指定は任意だが SAC Chair にも mail が届くように SB に伝えた方がよいとのコメントがあった。

笹瀬 Past Chair から、多忙な Section Chair に直接 mail が届くのか、年度の始まりが IEEE(1月始まり)と日本の大学(3月始まり)で異なる点も一因では、SAC Chair が事前に報告書を確認すべきではとコメントがあり、羽渕 Treasurer から mail はその通り、SAC Chair による事前確認についてはそういう手順を作らないと処理が大変になると回答があった。

徳田 Chair から、資料 P42 表で赤になっている大学は活動予定が未提出なのか、活動休止なのか、活動が休止の場合、東工大と横浜国大も Probation の対象に見えると質問があり、滝嶋 Secretary から改めて確認する、手順が決まれば共有する、内容について SAC Chair と共有、課題解決していくと回答があった。

#### ・ History Committee

(資料 5-6)

山田 Vice Chair(Chair 代理)から資料説明があった。

滝嶋 Secretary から、費用計上はあるか、HISTELCON 参加の費用があるのではと質問があり、山田 Chair 代理から別途確認すると回答があった。

## 6. Affinity Group 活動報告

### ・ Life Member Affinity Group

(資料 6-1)

高野 Chair から資料説明があった。

笹瀬 Past Chair から、マイルストーンについて富士通と NEC は通過すれば今回が初めてなので、マイルストーンの価値を高める意味でできるだけ目立つようにして欲しい、人が集まるようなイベントに日時をあわせること、動態展示を検討することなどが有効である。山田 History Chair 代理から前向きに検討したいと、高野 Chair から是非一緒に協力していきたいと、それぞれ回答があった。電子情報通信学会のプラチナクラブとの連携に関して、徳田 Chair より、個別の企画については都度条件に応じて判断すればよいが、全体的には協力・連携する方向がよいと思っているとコメントがあり、高野 Chair から前向きに対応したいと回答があった。

### ・ Young Professionals Affinity Group

(資料 当日配付)

吉田 Chair から資料報告があった。

滝嶋 Secretary から、今後も横浜市で別のイベントをやるかと質問があり、吉田 Chair から横浜市担当者は好印象との回答があった。徳田 Chair より、8月のハックチャレンジの広報はどうしているかと質問があり、吉田 Chair より、HP や ML 配信(事務局依頼)、SNS を考えていると回答があった。

高野 Chair から、IEEE Day や Day Party 期間中にイベントを実施すると点数がつくと聞いており、これに合わせてイベントを組むのはよいことか、レポートに書き込むようなことはないのかと質問があり、百武オブザーバより、期間中および前後はメンバーシップが 20~30%割引(通常他学会の方は 10%)になるが、ボランティアやレポートがポイント化されるという話は聞いたことがないと回答があった。吉田 Chair から、どこの Party がよかったかコンペはあること、野田 Chair からフォトコンテストは例年あると発言があった。

笹瀬 Past Chair から、Salon の必要経費ゼロはどういう意味かと質問があり、吉田 Chair から、もともと計上していないと回答があった。笹瀬 Past Chair から、予算化し執行すればよいこと、持続可能な運用とするための仕組みがあった方がよいとのコメントがあった。

野田 Chair から、Salon は外部講師を招いているのか、あるいは YP メンバ同士の意見交換の場なのかと質問があり、吉田 Chair より、YP メンバ同士の意見交換と回答があった。

高野 Chair から、LMAG の活動経費について、懇親会費は自己負担とするが、旅費などの自己負担は厳しくなっており費用負担をお願いしたい。また、今度の富士山レーダ見学会の説明担当者の旅費負担についてもご承認いただきたいと要望があり、LMAG の予算の範囲で実施し、不足分は申請して欲しいこと(笹瀬 Past Chair)、LMAG には費用計上をお

願いし、その上で申請を承認したいこと(滝嶋 Secretary)、旅費予算計上がなければ申請いただきそれを承認することで Treasurer としては問題ないこと(羽渕 Treasurer)、予備費を事前に積んでおき、その範囲で支出増に対応できれば、都度理事会で承認を得る必要がないこと(杉江 Past Secretary)、信学会のプラチナクラブでは費用負担に関する議論がされていないと思うので、共催の場合は費用の総額や負担を明確にし、こちらから良い例を示してあげるのがよいこと(笹瀬 Past Chair)などの意見があった。

## 7. その他

- ・ JC WIE 報告 (資料 7-1)

野田 Chair から資料説明があった。

滝嶋 Secretary から、WIE 支部移行は 6 人以上が設立条件、Joint が必要な支部もあるとコメントがあった。徳田 Chair から WIE2019 は都内千駄ヶ谷キャンパスかと質問があり、野田 Chair からその通りと回答があった。

- ・ メール審議報告 (資料 7-2)

滝嶋 Secretary から資料説明、確認依頼があった。

- ・ SIGHT 報告 (資料 当日配付)

西宮 Chair 欠席のため、滝嶋 Secretary から資料代読があった。詳細や活動報告、予算等の確認を滝嶋 Secretary から行う。

- ・ Region10 からのメール連絡一覧 (資料 7-3)

滝嶋 Secretary から資料(6 月 4 日受信分まで)確認があった。

- ・ IEEE 東京支部会員推移状況 (資料 7-4)

滝嶋 Secretary から資料確認があった。

- ・ Summary Report on IEEE Region 10 Industry Forum in ISCAS 2019 (資料 当日配付)

杉江 Past Secretary から資料説明があった。R10 IRC が Student Travel Fund(\$ 300)を用意し支援したところ、インド、マレーシアなどの学生から 4 名の応募があった。

滝嶋 Secretary から、MD も含めて産学連携は重要な課題なので提言があればお願いしたいと依頼があった。

最後に滝嶋 Secretary から次回第 3 回理事会を 9 月 30 日ガーデンエアタワーにて開催することが周知された。以上